

大原美術館

OHARA MUSEUM OF ART



休館日

毎週月曜日・12月28日～12月31日

〈祝・祭日及び振替休日の場合は開館〉

〈夏休み期間中及び10月は休館日なし〉

開館時間

9:00～17:00

〈但し、入館は16:30まで〉

入館料

入館券

本館／分館／工芸・東洋館／

児島虎次郎記念館（倉敷アイビースクエア内）

一般	1,300円	一般団体	1,200円
大学生	800円	大学生団体	700円
高校生 中学生 小学生	500円	高校生 中学生 小学生 団体	300円

※大学生の方、身体障害者手帳等をお持ちの方は
証明書をご提示ください。

※団体：20人以上



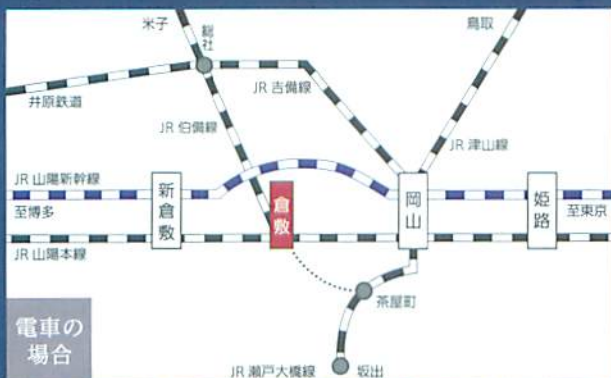
大原美術館 ミュージアムショップ

営業時間 / 9:00～17:30

※本館出口ショップと分館ショップは17:00まで

店休日 / 美術館に準じる

交通のご案内



JR 岡山駅からJR 倉敷駅まで山陽本線または伯備線で約18分
 JR 茶屋町駅からJR 倉敷駅までバスまたはタクシーで約25分
 JR 倉敷駅から南へ徒歩約15分



※当館には駐車場がございません。近隣の駐車場をご利用ください。
 山陽自動車道倉敷I.C.から車で約20分
 瀬戸中央自動車道早島I.C.から車で約20分



公益財団法人 **大原美術館**

〒710-8575 岡山県倉敷市中央1-1-15
 TEL(086)422-0005 FAX(086)427-3677
<http://www.ohara.or.jp> E-mail:info@ohara.or.jp

大原美術館について

大原美術館は1930年、洋画家児島虎次郎(1881-1929)の業績を記念するため、実業家大原孫三郎(1880-1943)によって岡山県倉敷市に設立されました。

孫三郎は倉敷紡績をはじめ数々の企業を経営する辣腕の実業家であると同時に、志高き社会事業家でもあり、労働問題、福祉、医療、文化などさまざまな分野で功績を残しました。孫三郎から美術への姿勢と才能を評価され、その経済的支援を受けていた児島は、美術家をはじめ日本の多くの人々のために西洋の優れた美術作品を収集することを孫三郎に提案し、ふたりはこれを実行します。1920年代、児島は2度にわたってヨーロッパ各地を巡り、その磨かれた眼で、エル・グレコ、モネ、ゴッタン、マティスなどの絵画をはじめ優れた作品の数々を収集。さらには、エジプト、中国、朝鮮半島などを訪れ、東西文化の源泉を物語る古美術も多く収集しました。大原美術館はこれらの収集品を核として児島の没後間もなく設立されたものです。西洋美術を収蔵・公開する日本初の施設であること、公共のためのコレクションであること、そして何より収蔵作品の質の高さにより、その誕生は我が国の歴史上特別な意義を有しています。

戦後、孫三郎の息子である大原總一郎(1909-1968)の手によって、大原美術館はさらなる飛躍を遂げます。總一郎は父の遺志を引き継ぐとともに、「生きて成長する美術館」という理想の下に、西洋および日本の近現代美術、東西の古美術、日本民藝運動に関わった作家たちの作品など収集を広げていきました。また、それらのための展示施設を新たに建設するとともに、国内外の美術を紹介する特別展、美術講座や講演会、コンサートなどの事業を実施し、大原美術館の活動に更なる豊かさと広がりをもたらしました。

21世紀を迎えた今、大原美術館はその創立の精神を大切に守りながら、生きて成長する美術館を目指して様々な活動を展開しています。特に、日本の現代美術を担うアーティストを紹介する事業や、多くの方々に美術館に親しんでいただくための教育・鑑賞支援事業に力を入れており、その成果は高い関心を集めています。大原美術館は、歴史ある美術館、そして今を生きる美術館として多くの方々に愛され続け、今日も倉敷の地で広く国内外からのお客様をお迎えしています。

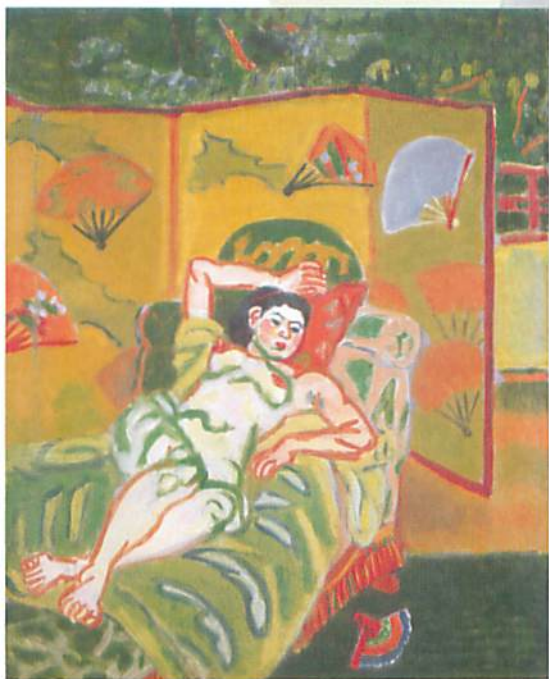
本館

西洋近現代の絵画と彫刻。



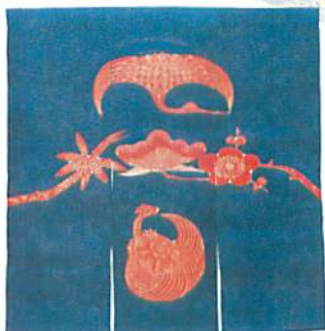
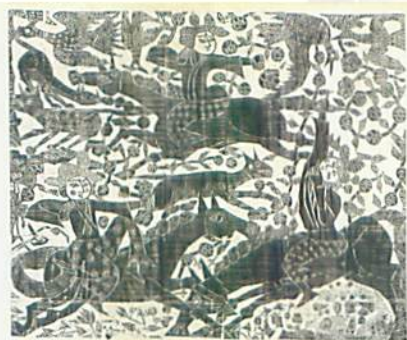
分館

日本の近代洋画から現在活躍する作家たちの作品。



工芸・東洋館

日本民芸運動に関わる作家たちの作品と、
東アジア古代美術品。



本館

1. クロード・モネ《積みわら》
2. パブロ・ピカソ《鳥籠》
3. アンリ・マティス《エトルター海の断崖》
4. アンリ・ル・シダネル《夕暮の小卓》
5. ポール・シニャック
《オーヴェルシーの運河》

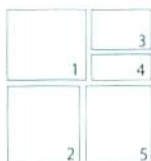


分館

1. 梅原龍三郎《裸婦扇》
2. 佐伯祐三《パリ街景》
3. 岸田劉生
《静物一赤りんご三個、茶碗、ブリキ罐、瓶》
4. 草間弥生《無題 (NO. RED. Z. A.)》
5. 樋口佳絵《耳障りな音》

児島虎次郎記念館

児島虎次郎の作品と、
古代エジプト、オリエント等の考古美術品。



工芸・東洋館

1. 棟方志功《草狩頰板画欄》
2. 北魏《一光三尊仏像》
3. バーナード・リーチ《鉄軸抜絵兎文大皿》
4. 河井寛治郎《緑軸六方鉢》
5. 芹沢銈介《鶴亀松竹梅文のれん》



児島虎次郎記念館

1. 児島虎次郎《睡れる幼きモデル》
2. 児島虎次郎《春の光》
3. 児島虎次郎《酒津風景》
4. エジプト《ファラオ像浮彫》

※貸し出しや保存のため、展示していない作品もございます。